

論文審査の要旨

|   |              |     |       |
|---|--------------|-----|-------|
| 報告番号  | ㊦・乙 第 3166 号 | 氏 名 | 増田 純一 |
| 論文審査担当者   | 主査 加 藤 大     |     |       |
|   | 副査 佐 藤 均     |     |       |
|   | 副査 田 中 信 忠   |     |       |
| (論文審査の要旨)   |              |     |       |
| <p>増田氏は、薬物血中濃度を LC-MS/MS で測定する際に、試料の前処理に労力が要すると考え、本研究では、HIV 治療ガイドラインの推奨薬であるインテグラーゼ阻害剤 (INSTI) の raltegravir, dolutegravir, elvitegravir 及び bictegravir を全自動前処理装置 (CLAM) と LC-MS/MS を用いて、簡便かつ高感度の同時定量法を確立した。内標準物質に raltegravir-d3 を用い、試料は CLAM 内でメタノールにより除タンパクを行い、LC-MS/MS で分析した。分離カラムに InertSustain C18 カラムを使用し、移動相には 20 mM ギ酸アンモニウムを含む水とメタノールの混合液をグラジエント溶離で用いた。開発した手法を用いると、1 検体あたり 10 分で測定でき、定量限界は各化合物とも 0.5 ng/mL であった。開発した手法で、INSTI を服用している HIV 患者の血液中の薬物濃度を測定し、治療効果や副作用を確認し、開発した手法の実臨床への有効性を示している。</p> <p>以上の研究成果をまとめた「高速液体クロマトグラフィータンデム質量分析を用いたヒト血漿中の reltegravir, dolutegravir, elvitegravir および bictegravir の同時定量」論文及び成果は、新しい知見を得ており、学術上価値あるものと考えられることから、博士 (薬学) 甲号に相応しいと判断した。</p> <p>掲載雑誌名 : THE SHOWA UNIVERSITY JOURNAL OF MEDICAL SCIENCES</p> |              |     |       |

(主査が記載、500 字以内)